

神奈川大学 非文字資料研究センター

2017年度 第6回 公開研究会

アジア太平洋戦争と国策紙芝居

日時：2018年3月25日（日）12：45～17：30 / 会場：1号館308号室（横浜キャンパス）

本センターは、2012年度に戦時下紙芝居241点(戦意高揚紙芝居コレクション)を購入・収蔵した。本コレクションの旧蔵者は作家・櫻本富雄氏であり、主に1941年から1949年の間に日本教育畫劇(1938年に結成された日本教育紙芝居協会の紙芝居出版機関)から刊行された作品群によって構成されている。この時期に制作された一連の印刷紙芝居は「国策紙芝居」とも呼ばれ、15年戦争に突き進んだ翼賛体制時代の言論統制下において例外なき戦争プロパガンダの一翼を担うこととなったが、敗戦から占領に至る期間に多くが焼却され散逸したとされている。

本センターは、2014年度より「戦時下日本の大衆メディア」研究班を組織し、①所蔵作品の全点解題による本コレクションの紹介、②戦時下紙芝居の刊行・残存状況の全容調査、③朝鮮・台湾等における植民地紙芝居の調査、④戦時下紙芝居の実演・普及に携わった組織・人物の解明を目的として共同研究を行ってきた。このたび、3年間にわたった調査・研究成果が『国策紙芝居にみる日本の戦争』(勉誠出版)として刊行されたことを機に、未達の課題が山積する戦時下紙芝居研究をさらに深化させていくために、内外の研究者をお招きして公開研究会を開催する。

《報告者・コメンテーター プロフィール》

森山 優(静岡県立大学国際関係学部 教授)

『日米開戦の政治過程』吉川弘文館1998、『日本はなぜ開戦に踏み切ったか：「両論併記」と「非決定」』(新潮選書)2012、『日米開戦と情報戦』(講談社現代新書)2016 ほか

シャラリン・オルバー(カナダ、ブリティッシュ・コロンビア大学アジア研究学部 教授)

Propaganda Performed : Kamishibai in Japan's Fifteen Year War, Leiden: Brill, 2015. Japanese Fiction of the Allied Occupation : Vision, Embodiment, Identity (Brill's Japanese Studies Library) 2006. etc.

權 希珠(韓国、建国大学 アジアコンテンツセンター 助教授)

『日本大衆文化の理解』(共著)2015、『近代国語教科書を読む』(共著)2014により世宗優秀学術図書(旧文化体育観光部優秀学術図書)選定 ほか

大串 潤児(信州大学人文学部 准教授)

『「銃後」の民衆経験：地域における翼賛運動』(シリーズ 戦争の経験を問う)岩波書店2016、『シリーズ 戦後日本社会の歴史 第1～4巻』(共編著)岩波書店 2012-2013 ほか

真鍋 昌賢(北九州市立大学文学部 教授)

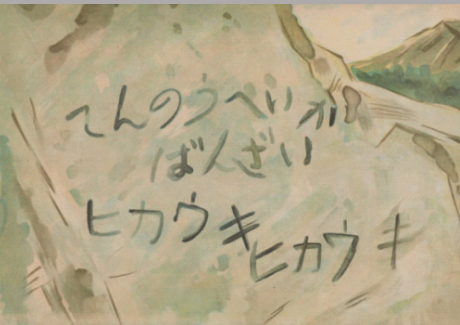
『浪花節 流動する語り芸：演者と聴衆の近代』せりか書房 2017 ほか

浅岡 靖央(白百合女子大学人間総合学部 教授)

『児童文化とは何であったか』つなん出版2004により日本児童文学学会奨励賞 雑誌『教育紙芝居』・『紙芝居』の復刻(金沢文圃閣)により堀尾青史賞 ほか



『オモチャの出征』日本教育畫劇,1942.3.5より



『爪文字』日本教育畫劇,1943.12.23より



『大建設』選挙肃正中央聯盟,1942.3.17より



『銅像物語』日本教育畫劇,1943.8.25より



問い合わせ先：神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター事務室
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL:045-481-5661(内線3532)
<http://himoji.kanagawa-u.ac.jp> <http://www.kanagawa-u.ac.jp>

参加自由/事前申込み不要